

報道機関各位

「第50回福岡県消防救助技術指導会」に向けて 選抜された隊員による訓練成果の発表



救助技術の向上に努めてきた消防職員が、7月の「九州地区消防救助技術指導会（福岡県）」、8月の「全国消防救助技術大会（千葉県）」への出場を目指し、その予選となる「福岡県消防救助技術指導会」を前に、これまでの訓練成果を消防局長に披露します。

救助大会訓練とは

- ▶ 救助技術に必要な基本的要素を錬磨し、体力・精神力・技術力を養う訓練
- ▶ 複雑多様化する災害に備え、消防が行う救助活動の万全を期するため、日頃の訓練成果の披露とあわせ、知識及び技術の向上を図ることを目的

1 日時 令和6年4月30日（火）10時00分～11時30分

2 場所 北九州市消防訓練研修センター（小倉北区東港一丁目2番5号）

3 訓練概要

（1）スケジュール

- 訓練隊員による訓練開始の報告 10時
- ① ロープ応用登はん
- ② はしご登はん
- ③ ほふく救出
- ④ ロープブリッジ救出
- ⑤ 引揚救助
- 消防局長訓示、代表職員選手宣誓 11時30分頃
終了予定

別紙参照

（2）消防救助技術指導会の種目

別紙のとおり



4 参加者 訓練隊員27人（運営職員等を含めると約45人）

5 主催 北九州市消防局

6 問い合わせ先 消防局警防課 担当 秦・友田

電話番号：093-582-3817

消防救助技術指導会の種目等

種目名	内容	種目名	内容
① ロープ応用登はん 	<p>2人1組で行います。</p> <p>資器材を使わずに、腕力と脚力のみで15mのロープを安全・確実・迅速に登ります。</p> <p>建物へ進入するための訓練です。</p> <p>6名(2名×3チーム)</p>	② はしご登はん 	<p>命綱を作成した後に、15mのはしごを安全・確実・迅速に登ります。</p> <p>建物へ進入するための訓練です。</p> <p>3名(個人種目)</p>
③ ほふく救出 	<p>2人1組で行い、8mの横抗に1人が進入し、要救助者を発見した後、残り1人と協力して安全な場所まで救出します。</p> <p>煙が充満したビルや地下室に要救助者が取り残されている状況を想定しています。</p> <p>9名(3名×3チーム)</p>	④ ロープブリッジ救出 	<p>3人1組で行い、水平に張った20mのロープを2人が渡り、要救助者を発見した後、残り1人と協力して安全に救出します。</p> <p>河川の中洲等に要救助者が取り残された状況を想定しています。</p> <p>4名(1チーム)</p>
⑤ 引揚救助 	<p>4人1組で行い、7mの塔の下に2人が降りて、要救助者を発見した後、残り2人と協力して塔の上まで引き揚げて救出します。</p> <p>崖下や建物下に要救助者が転落した時を想定しています。</p> <p>5名(1チーム)</p>	<p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■第50回福岡県消防救助技術指導会 令和6年5月24日 場所：福岡県消防学校 ■第52回九州地区消防救助技術指導会 令和6年7月19日 場所：福岡県消防学校 ■第52回全国消防救助技術大会 令和6年8月23日 場所：千葉県消防学校及び千葉県国際総合水泳場 	